

【ギタリスト超初心者講座～第8回～】横にパッと動くこと

では、始めていきましょう。

今回は”指板を横に動くフレーズ”です。

まず、基本として、クロマチックスケールの練習で行ったような、1フレットずつ、左右に移動する練習があります。

譜例1、上昇

5 $\text{F}\sharp$ $\text{G}\sharp$ $\text{A}\sharp$ $\text{B}\sharp$ $\text{C}\sharp$ $\text{D}\sharp$ $\text{E}\sharp$ $\text{F}\sharp$ 6 $\text{F}\sharp$ $\text{G}\sharp$ $\text{A}\sharp$ $\text{B}\sharp$ $\text{C}\sharp$ $\text{D}\sharp$ $\text{E}\sharp$ $\text{F}\sharp$ 7 $\text{F}\sharp$ $\text{G}\sharp$ $\text{A}\sharp$ $\text{B}\sharp$ $\text{C}\sharp$ $\text{D}\sharp$ $\text{E}\sharp$ $\text{F}\sharp$ 8 $\text{F}\sharp$ $\text{G}\sharp$ $\text{A}\sharp$ $\text{B}\sharp$ $\text{C}\sharp$ $\text{D}\sharp$ $\text{E}\sharp$ $\text{F}\sharp$

mf

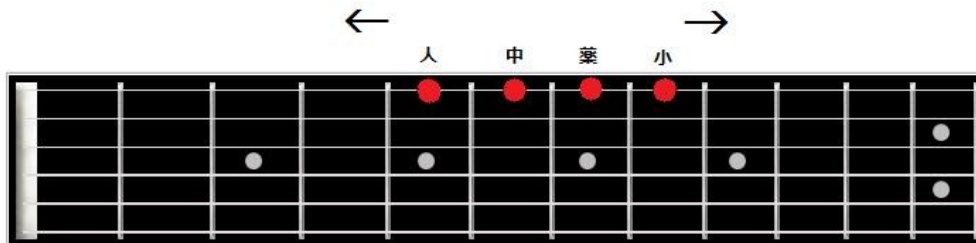
TAB
1-2-3-4-2-3-4-5 | 3-4-5-6-4-5-6-7 | 5-6-7-8-6-7-8-9 | 7-8-9-10-8-9-10-11

譜例2、下降

9 $\text{F}\sharp$ $\text{E}\sharp$ $\text{D}\sharp$ $\text{C}\sharp$ $\text{B}\sharp$ $\text{A}\sharp$ $\text{G}\sharp$ $\text{F}\sharp$ 10 $\text{F}\sharp$ $\text{E}\sharp$ $\text{D}\sharp$ $\text{C}\sharp$ $\text{B}\sharp$ $\text{A}\sharp$ $\text{G}\sharp$ $\text{F}\sharp$ 11 $\text{F}\sharp$ $\text{E}\sharp$ $\text{D}\sharp$ $\text{C}\sharp$ $\text{B}\sharp$ $\text{A}\sharp$ $\text{G}\sharp$ $\text{F}\sharp$ 12 $\text{F}\sharp$ $\text{E}\sharp$ $\text{D}\sharp$ $\text{C}\sharp$ $\text{B}\sharp$ $\text{A}\sharp$ $\text{G}\sharp$ $\text{F}\sharp$

TAB
11-10-9-8-10-9-8-7 | 9-8-7-6-8-7-6-5 | 7-6-5-4-6-5-4-3 | 5-4-3-2-4-3-2-1

1フレットずつ、人差し指～小指の各指を対応させて弾きます。



これまでと同じように、メトロノームを使って無理なく弾けるテンポから練習しましょう。

横移動の時の演奏上のポイントは、左手全体をスッと、必要な距離の分移動させる、ということです。

特に重要なのは、親指の位置になります。

表(指板上)に出している4本の指と、裏に添えている親指の位置関係が、ポジションを動いても変わらないように左手全体を移動させます。
(動画で動きをよく確認してください)

もちろんフレーズによっては、親指をあまり動かさない事もあるのですが、今回のトレーニングでは、左手全体を移動させることになります。

次に、メカニカルに1フレットずつ動いていたのとは違う、スケール(音階)を使ったトレーニングをしてみましょう。

使うスケールは、Cメジャースケール、要するに”ドレミファソラシ(ド)”ですね。

この7音だけを使って、横移動のフレーズを練習します。

スケールの種類などは、今の時点では気にしなくてもいいです。場所と音名だけ覚えて、練習に入ってください。

指板上で見ると、この音を使います。



アルファベットの音名はそれぞれ、”C=ド D=レ E=ミ F=ファ G=ソ A=ラ B=シ”と対応しています。

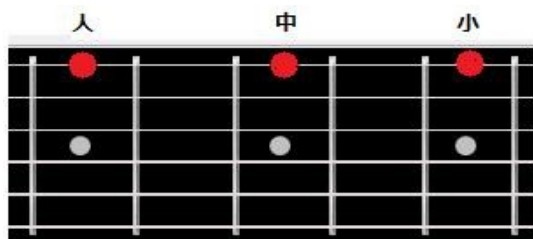
このCメジャースケールを使って、以下の譜例にチャレンジしてみましょう。

譜例 3、Cメジャースケール横移動

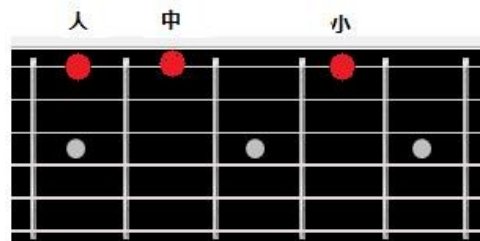
この8小節のパターンを何度か繰り返してみましょう。

指使いは3つのパターンがあり、それぞれこの様に指を対応させます。

5フレットにまたがるパターン



4フレットにまたがるパターン 1



4フレットにまたがるパターン 2



基本的にはこの指使いを守って弾きます。

この譜例でのポジション移動(横に動く)の時のポイントは、
”人差し指を基点にするような感覚で、スッと動かすこと”です。

人差し指(と同時に裏の親指)が先に目的の位置に移動した後、
残りの指がついてくるような感じです。

厳密には、ポジションを動かした時点で、
次のポジションのフレット間隔に合わせる感じで
他の指もすでに開いて準備しておくのですが。

この辺りは動画を参考にしてください。

アコギの場合、12フレット近辺になるとボディが邪魔になり、弾きづらかもしれませんが、
その時は弾ける範囲にフレーズを縮めて練習しましょう。

さて、人差し指基点のフレーズを弾いてみたところで、
最後に、小指基点のフレーズを練習してみましょう。

小指基点とは、要するに、横に動く時、
小指をベースにしながら動く、ということです。

使うスケールも先ほどと同じCメジャースケールです。

譜例はこちら。

譜例 4、Cメジャースケール横移動

5 6 7 8

mf

TAB 12-10-8-10-12 10-8-7-8-10 8-7-5-7-8 7-5-3-5-7

9 10 11 12

TAB 5-3-1-3-5 3-1-0-1-3 5-3-1-3-5 7-5-3-5-7

どちらかといえば、人差し指基点よりも小指基点の方が、難しく感じるかも知れません。

ポジション移動時のポイントは、人差し指の時と同じで、
小指が先に動いて、後から他の指がついてくるような感じです。

人差し指よりも力が弱くなるので、手を移動させた時に
バランスが崩れやすくなりがちです。

その辺りに気をつけながら、じっくり練習して、
ポジション移動の感覚を身につけていきましょう。

では今回の”指板上で横にパッと動く”トレーニングは以上になります。

ありがとうございました。

大沼